

～ “W行燈芯巻” という網の種類について ～

発行責任者

(有)アイエスシー 田崎

再び個人的に学びを得た件についてのご紹介です！(笑)

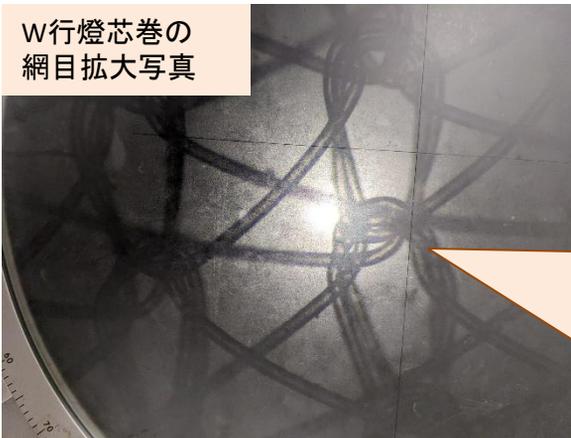
ミラノ・コルティナオリンピックも大盛況でしたね！心震える演技との遭遇があることを期待していたフィギュアスケート、期待を遥かに超える過程と結果となり堪らなく幸せな気持ちになっておりました🐱✨ この幸せな気持ちはさておき(!)、今回は久しぶりの超個人的な新たな学びについて、またまた報告したいと思います(笑)。

ある日取引先からのご依頼で、たも網の生地について調べていたところ“W行燈芯巻”という単語に遭遇しました。そもそもW行燈芯巻とは何か・・・(読み方から謎)、ネットで検索しても出てこず、ここはチャットGPTの出番だと思い早速聞いてみました。

「行燈(あんどん)芯巻」は、芯糸(直線的に走る糸)を、別の糸がらせん状に巻き付く構造のこと、W(ダブル)は、その芯巻構造が二重(左右・上下・2本芯など)になっていることを意味するとの回答を得ました!! 強度が高い・形崩れしにくい・透け感の中に「線」がくっきり出る特徴を持ち、主に和装や衣装レースなど服飾関係で使用されているようです。

水産資材として聞きなれない網地だったのですが、もしかしたらフィギュアスケートの衣装にも使われている可能性を想像すると、なんだか勝手に胸が高鳴りました♥
まだまだ知らない素材でこの世は満ち溢れていると、改めて思った次第です。

W行燈芯巻の
網目拡大写真



※服飾用とあってとても柔らかい素材ですが、水切れやコスト面を考慮して量産体制する場合割に合うか難しいところです…。しかし、立体的で高密度な構成からなる強度面を生かして補強や装飾の部分使いとしては利用価値ありそうです！

ちなみに弊社では、100m乱巻単位での取扱いにて販売可能です！

